

第17回CN専門委員会 次第

1. 進捗確認【資料配布】
2. CNホームページ運用開始【報告】
3. CN勉強会【第1回実践編】開催【報告】
4. CO2排出量目標の提案【環境委員会 報告】
5. ※CJPTとの連携活動と今後の対応（案）【報告】

※CJPT : Commercial Japan Partnership Technologies

2022.12.23
車工会 事務局

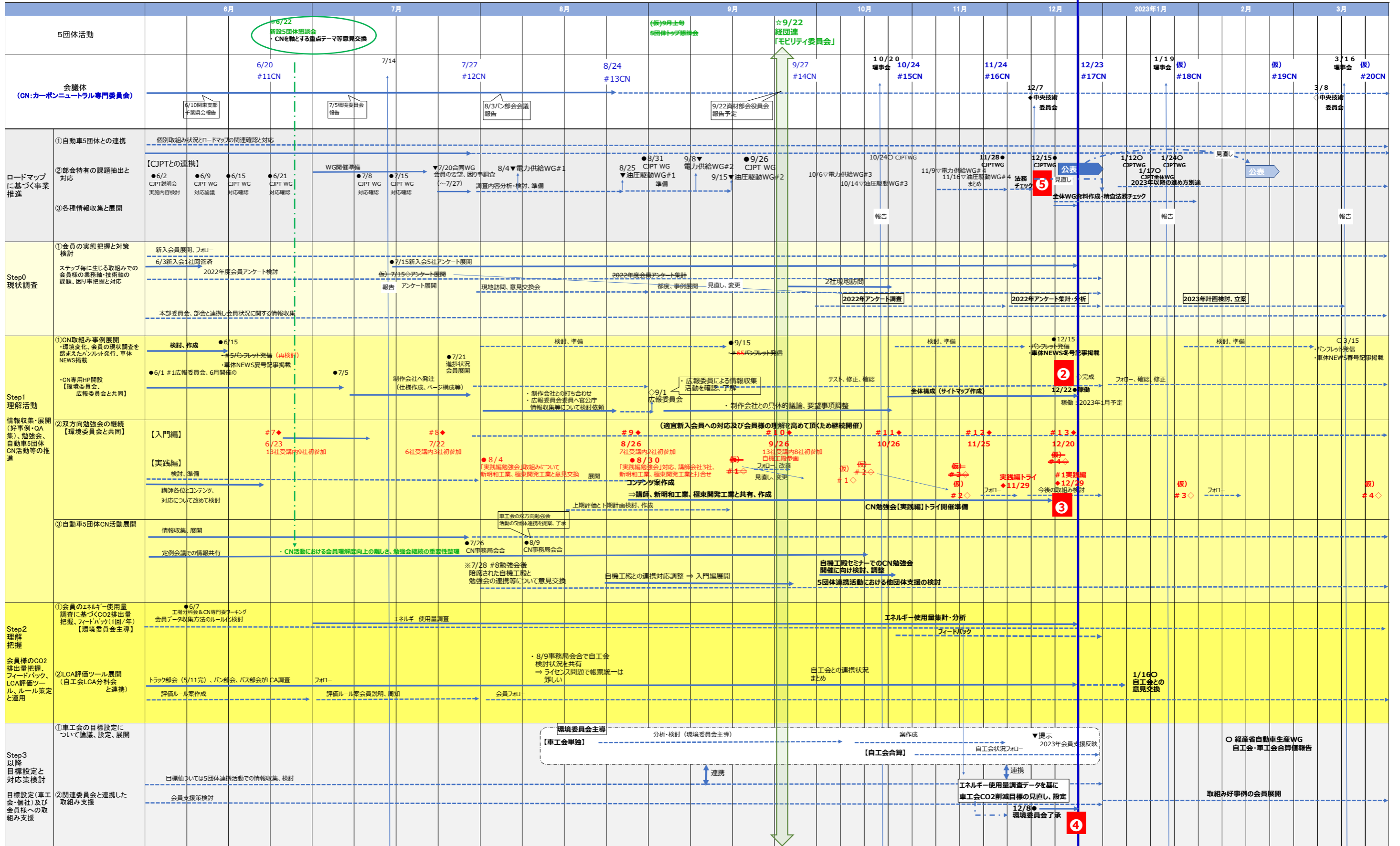
カーボンニュートラル専門委員会 出欠一覧：第17回 2022年12月23日（金） 10：30～12：00

	委員会役職	氏名	所属部会・役職	会社名	役職	出欠
1	委員長	宮内 一公	(会長)	トヨタ自動車東日本(株)	取締役社長	WEB
2	副委員長	田沼 勝之	(副会長)	新明和工業(株)	取締役 専務執行役員	代理・WEB
		代)長田 善彦	—	新明和工業(株)	特装車事業部 品質保証部長	
3		矢野 彰一	(副会長、パン、九州支部長)	(株)矢野特殊自動車	取締役社長	代理・WEB
		代)柴田 和典	—	(株)矢野特殊自動車	取締役 品質保証部長	
4		吉村 東彦	小型部会長	日産車体(株)	取締役社長	WEB
5	委員	増井 敬二	(副会長)	トヨタ車体(株)	取締役社長	WEB
		鈴木 真也	—	トヨタ車体(株)	経営企画部 主担当員	WEB
6		布原 達也	特装部会長	極東開発工業(株)	取締役社長	WEB
7		森 孝義	特種部会長	中京車体工業(株)	取締役社長	WEB
8		山田 和典	トラック部会長	山田車体工業(株)	取締役社長	WEB
9		田中 俊和	パン部会長	日本フルハーフ(株)	代表取締役社長	WEB
10		辻 和弘	トレーラ部会長	東邦車輛(株)	取締役社長	欠席
11		石川 哲朗	バス部会長	ジェイ・バス(株)	取締役社長	WEB
12		小澤 賢記	資材部会長	ゴールドキング(株)	取締役社長	WEB
13	アドバイザー	木村 昌平	(相談役)	車体工業会	相談役	欠席
14		杉山 透	環境委員会工場環境分科会長	トヨタ車体(株)	プラント環境生技部 カーボンニュートラル企画室 室長	WEB
15	事務局	鈴木 良規		トヨタ自動車東日本(株)	第1開発領域長	WEB
16		富澤 浩紀		トヨタ自動車東日本(株)	プロジェクトリーダー	WEB
17		岡本 哲		トヨタ自動車東日本(株)	総務部 総合企画G GM	WEB
18		松井 賢一		トヨタ自動車東日本(株)	P E・環境部 部長	WEB
19		吉田 量年		車体工業会	専務理事	WEB
20		小森 啓行		車体工業会	業務部長	WEB
21		森田 敦次		車体工業会	業務部 次長	WEB

カーボンニュートラル取組み(2022年6月～2023年3月)

【 2 3 4 5 : # 1 7 委員会次第個別報告事項】

現在



車体工業会 ホームページ カーボンニュートラル（CN）専用ページ開設

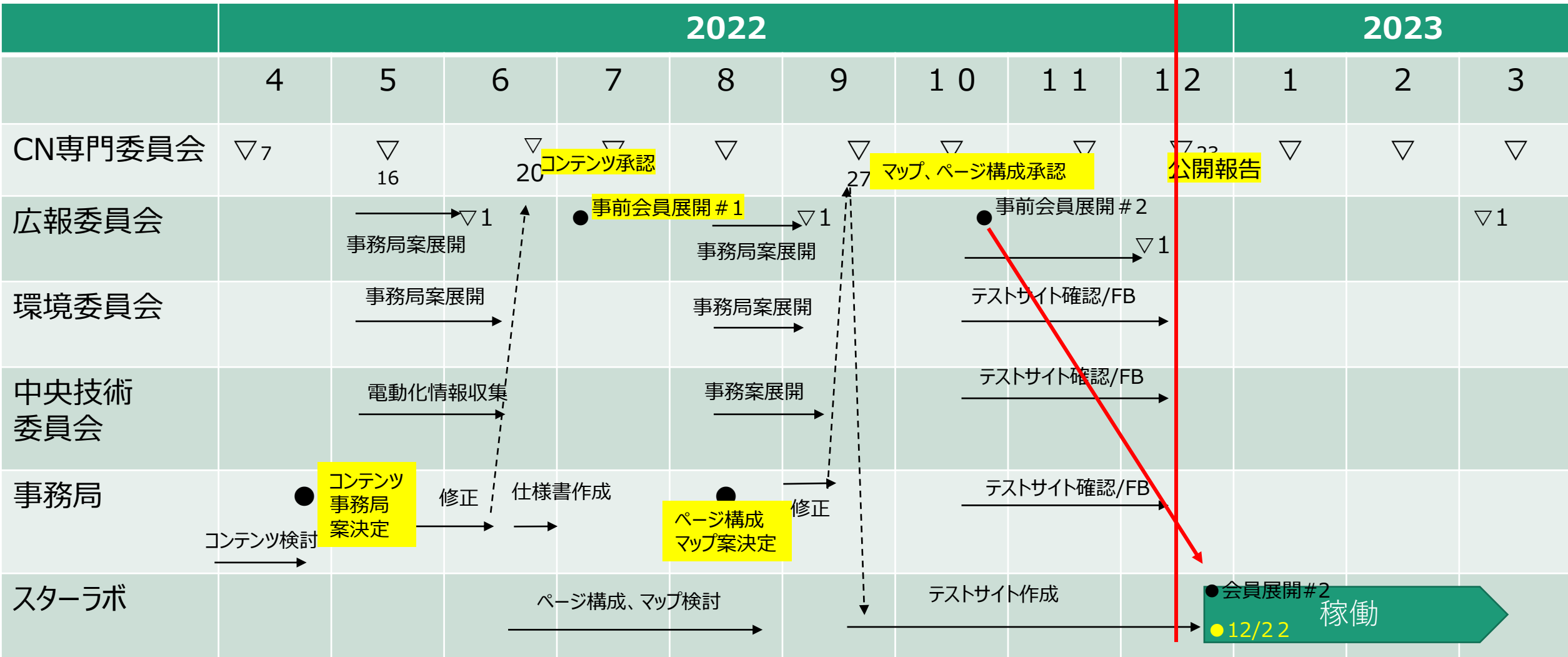
<目的>

CNを正しく理解していただくための、会員へのわかりやすく有益な情報発信

2022.12.23
車工会 事務局

カーボンニュートラル（CN）専用ページ 日程

- ・早く会員の皆様に使っていただくために、公開を前倒し、12/22にリリース完了
- ・同日に会員展開（メール、ホームページ）も完了



CN専門ホームページ

第16回CN専門委員会での委員コメント

<結果>

- ・わかりやすく、整理された構成となっているとのコメントをいただき、概ね好評価であった
- ・会員の実施事例と補助金・助成金・税制優遇の情報がポイントと考えられるので、優先順位をあげて、情報を充実させてほしい
- ・一部更なる改善に向けてのコメントに対する対応を実施する（下表参照）

<コメント>

改善コメントと対応

	コメント	対応
1	情報量が多いので、社内でどのように活用するか検討したい	閲覧目的に対し、どこを見ればよいか分かるよう以下を実施（次ページ以降参照）
2	情報量が多いので、初めて見る人にとって、どこに何があるかがわからないかもしれない	<ul style="list-style-type: none"> ・使い方の参考となる、使い方例の展開 ・Q&Aのページの活用 ・バナーエリアの活用
3	社内で活用するようにしたい。今後情報が追加、修正されたときに、 会員に対してアナウンス されるしくみがあるといい	<ul style="list-style-type: none"> ・当会の使用しているサーバーのサービスで一斉送信機能あり 使い方勉強後、1月までに使用できるよう準備する
4	情報量が多いので、会員が数多く閲覧していることがわかるようなカウンター表示を検討したらどうか？	製作会社（スターラボ）に相談した結果、技術的には可能であるが、大規模な改修が必要となるため、見送ることとした。代案として、上記バナーエリアに、見て欲しい、多く見られている情報を掲載することとした

CNホームページの使い方例

CN ホームページコンテンツ	活用例	
カーボンニュートラルの基礎知識	カーボンニュートラルとは	社内教育材料、CN の理解度向上等の 人材育成
	勉強会・講演会	
	パンフレット	当会の活動状況を知る
	車体 NEWS	
	専門委員会情報	
アンケート結果	会員の CN への取組み状況を知る	
CO2 排出量と削減目標	CO2 排出量データ	会員の排出量の相場感を知り、自社の位置づけを明確にする
	削減目標	当会目標と考え方を知り、自社目標策定の参考とする
カーボンニュートラルに向けた取組み	生産領域の省エネ情報	会員の取組み事例から、CN 達成のための 具体的方策検討の参考とする
	現地訪問意見交換会	
	グリーンエネルギー情報	
	LCA 情報	CN に取り組む範囲を知り、自社活動につなげる
	商用車電動化情報	商用車の電動化による変更の概要を知る
官公庁情報	基礎知識	左記に関する 官公庁の情報 を知る
	生産領域の省エネ情報	
	グリーンエネルギー情報	
	LCA 情報	
	商用車電動化情報	
	補助金・助成金・税制優遇	

- ・太字は特に会員の皆様にご覧いただきたいページ
- ・タイトルをクリックすると当該HPに入場可能

バナーの活用

カーボンニュートラルページのトップに見て欲しいコンテンツのバナーを掲載



Q 他社の活動事例を知りたい

A カーボンニュートラルホームページに会員各社の活動事例を掲載しています
①生産領域の省エネ事例の「[取組み事例](#)」「[現地訪問意見交換会](#)」をご覧ください（以下をクリック）
[生産領域の省エネ情報（取組み事例）](#)
②太陽光発電等のグリーンエネルギーに関する取組み事例は以下をクリックしてご覧ください
[グリーンエネルギー情報（取組み事例）](#)

Q 社員教育を進めたいが、「勉強会」の開催や「教育用資料」を提供して欲しい

A 以下の勉強会を開催していますので、ご参加ください。勉強会資料は、社内教育用等にご活用下さい
入門編：毎月1回 [資料及びお申込みはこちら](#)
実践編：2022年12月より開催予定 [別途資料公開](#)
日程：ホームページの「[行事予定](#)」に公開しています [行事予定はこちら](#)

Q CNを進めるにあたっての、補助金・助成金・税制優遇情報を知りたい

A カーボンニュートラルホームページの「[官公庁情報](#)」に「[補助金・助成金・税制優遇情報](#)」を掲載していますので、ご活用下さい
「[投資促進](#)」、「[税制優遇](#)」、「[再エネ](#)」、「[一覧](#)」、「[その他](#)」の категорияにわけて掲載しています
[補助金・助成金・税制優遇情報はこちら](#)

CN勉強会

【第1回 実践編】開催

2022年12月23日
CN専門委員会 事務局

1. 概要

トライで協力いただいた参加者からのご意見・アドバイスを反映し、本開催を実施

(11/29開催)

2. 日時

2022年12月22日（木） 15:30-17:00

3. 講師

トヨタ自動車東日本(株) 松井部長様

4. 募集（案内先 計 198社）

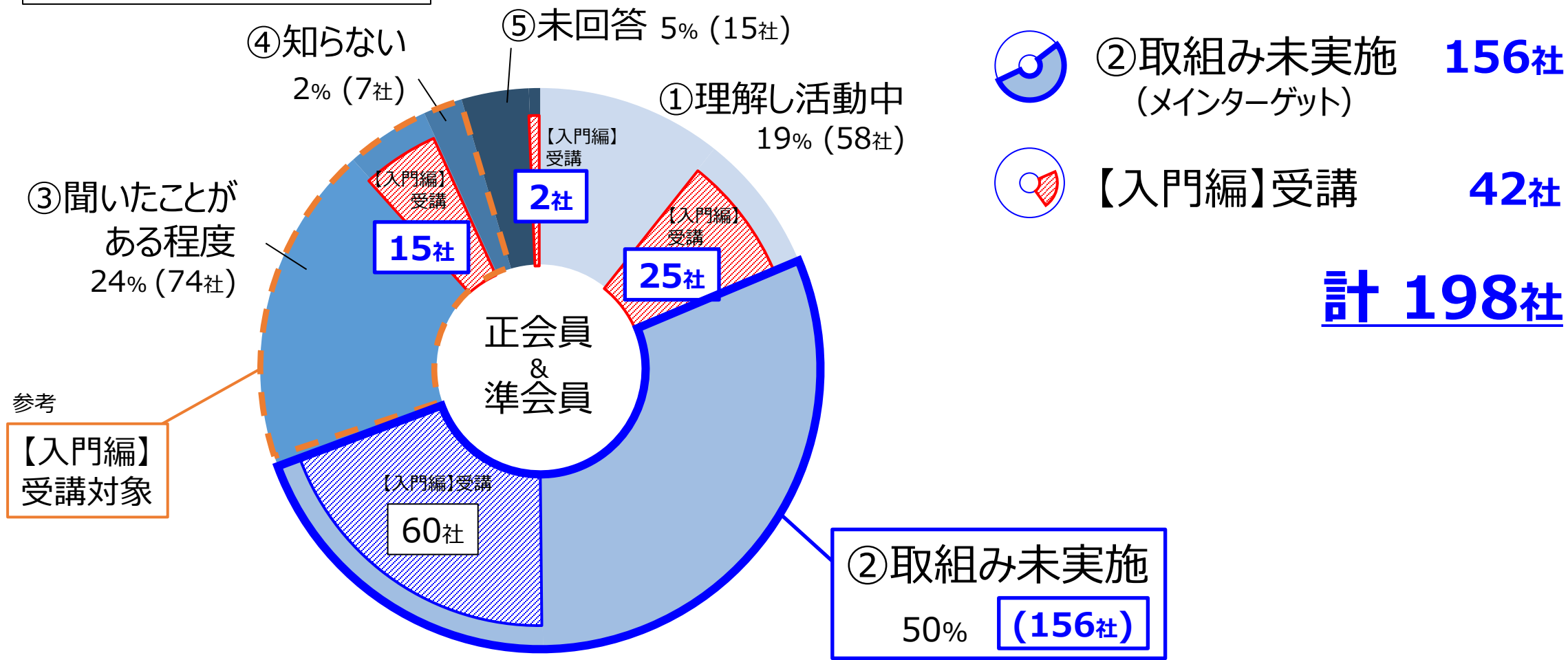
- ① CNアンケート（'21/7～10）のCN理解度設問で、
『内容は理解しているが、まだ取組んでない』と回答の会員会社
- ② 入門編に参加し、基礎知識を理解した会員会社（CN取組み中の会員含む）
- ③ コミュニケーション重視のため、定員10社で募集

12/8（木） 17:00案内開始 ⇒ 12/9（金） 16:30締切（11社申込み）

5. 受講ターゲット

【実践編】に受講いただきたい会員様

CNアンケートの『CN理解度』より
(’21/7~10)



6. 参加会員（11社 56名）

NO	所属 部会	会社名	規模	参加 人数	入門編 参加回数	CN理解度	コメント（困り事や聞きたいこと等）
1	特装	イワフジ工業(株)	中小	2	2回 (#4,12)	理解しているが、 取組み未	CNの動向や取り組み方、 具体例の情報がほしい 。また、取り組むうえで 注意点・問題点などもあわせて取り上げてほしい（入門編アンケートより）
2	特装	(株)加藤製作所	大	7	3回 (#4,7,11)	理解しているが、 取組み未	工場での 活動事例をもっと知りたい （入門編アンケートより）
3	特種	(株)イズミ車体製作所	中小	1	1回 (#4)	理解し取組み中	具体策のところでは炭素を減らすことはいくつか考えられるが、 ニュートラルに するための吸収などの対応方法が分からない （入門編アンケートより）
4	特種	日産モータースポーツ &カスタマイズ(株)	大	4	2回 (#3,6)	理解しているが、 取組み未	省エネ推進し下げるところまで下げることや、社員へCNの取り組みが必要 なことへの周知を進めたい（入門編アンケートより）
5	トラック	(株)東洋ボデー	中小	1	1回 (#1)	理解し取組み中	購入資材の原単位CO2排出量の算出方法 を知りたい （申込時コメントより）
6	バン	(株)矢野特殊自動車	中小	9	4回 (#1,3,9,12)	理解しているが、 取組み未	政府、企業のCN対策の進捗状況等、最新情報 を知りたい （申込時コメントより）
7	バン	(株)北村製作所	中小	23	4回 (#1,4,10,12)	知っている程度 （取組み未）	今後CNについて進めていくので、実例をお伺いしながら、 どこから着手すれ ば良いかや、効率の良い進め方などをお聞きしたい （申込時コメントより）
8	バス	三菱ふそうバス製造(株)	大	3	1回 (#10)	理解し取組み中	CNについて調査する際、環境省のHPはわかりにくいので車工会のHPに CN関連情報のリンクを設定してほしい（申込時コメントより）
9	資材	アキレス(株)	大	4	1回 (#4)	理解し取組み中	弊社の取組み活動の方向性に間違いがないかの確認したい 。また、自 動車OEMの明確な指標についての情報を希望（入門編アンケートより）
10	資材	オールセーフ(株)	中小	1	3回 (#4,5,8)	理解しているが、 取組み未	何から手を付ければよいのか、その後、どのように進めて行けばよいのか が分からない（申込時コメントより）
11	資材	(株)松沢商会	中小	1	3回 (#1,3,5)	理解しているが、 取組み未	商社である私共にできることは何か を知りたい（申込時コメントより）

7. スケジュール

	2022年度				2023年度
	12月	'23/1月	2月	3月	4月
入門編 ・1回/月継続 ・4月以降の開催見直し	募集 → ● #13 12/20 講師 TMEJ松井さん 1~3月講師スケジュール調整	募集 → ○ #14 次年度開催方法検討 アーカイブ活用、事務局対応 他	募集 → ○ #15 CN専門委員会	募集 → ○ #16 開催準備	募集 → ○ #17
実践編 ・内容を都度アップデート	募集 → ● #1 12/22 講師 TMEJ松井さん テキスト作成 トライ参加者、講師のアドバイスを織込み	募集 → ○ #2 アンケート テキスト修正 アンケート結果から情報追加、修正 講師スケジュール調整	募集 → ○ #3 2/初 都度アップデート 毎回アンケートをとり意見・要望をお聞きする	募集 → ○ #4 都度アップデート	募集 → ○ #5 都度アップデート
共通	受講・申込みしやすさ検討	募集方法見直し・CN-HP掲載（受講者コメント等） 他			

CO2排出量目標の提案について

1. 主旨

政府の『2050年カーボンニュートラル』宣言を受けて、地球温暖化対策計画の改定が行われた。各業界とも政府目標に準じた目標設定が求められる中、当会単独での目標について見直しを提案する。

(背景)

①	20.10.26菅前総理によるCN宣言に伴い、 政府目標を引き上げ 国全体 ▲46%、産業界 ▲38% (いずれも2013年度比)
②	電気事業低炭素社会協議会による 電力係数の見直し (2022.6.29発表) 改定前 0.37kg-CO2/kwh → 改定後 0.25kg-CO2/kwh
③	自工会+車工会合算目標の見直し 現目標 616万tCO2(13年比18%減) → 改定後 463万tCO2(同38%減)

【図1】社会動向と当会の対応

	~10	15	20	21	22	23	24	25	30
世界		★IPCC#5	★パリ協定、SDGs	★パリ協定実行					
日本			★温暖化対策計画	①★CN宣言		②			
経団連	★低炭素社会 実行計画	★20目標設定 実行計画フェーズI	★30目標設定	★チャレンジゼロ		★電力係数見直し改定			
自工会 +車工会	#1目標期間	#2目標期間	#3目標期間		③★目標見直し				
車工会	★環境委員会発足		CN専門委員会発足★ 当会単独の内部目標を設定★		★内部目標見直し提案				
						95万t以下			80万t

【表1】自工会+車工会合算目標の2030年度前提条件

	生産台数(*1)	電力係数	次世代車比(*2)	省エネ量
従来	1049 万台	0.37 kgco2/kwh	45 %	2.7 万t-Co2/年
今回	1047	0.25	70	6.6

*1) 2019年の生産台数949万台に16~21年平均経済成長率0.9%考慮

*2) 経産省の次世代自動車戦略の上限値に引き上げ

2. 目標改定 (案)

(1) スタンス

- ① 当会としての貢献度を明確にする独自に設定した目標を見直す。(今回設定の目標は、当会内に留める)
- ② 我が国目標と同等以上の水準とする(基準年は13年度)
- ③ 自動車やCNを取り巻く前提条件は他業界と同調し、織り込む
- ④ 会員は全て集計対象とする

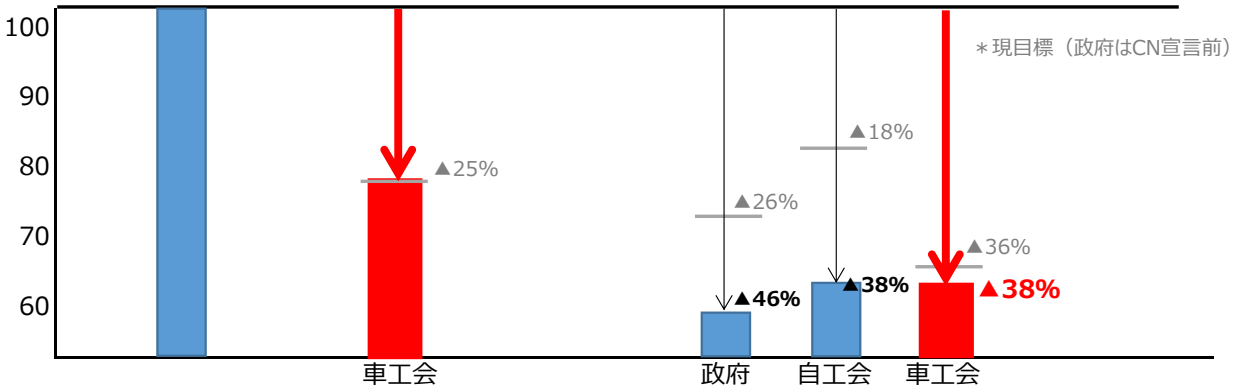
(2) 目標項目、目標値

30年目標は、78万tCO2 (13年比▲38%) としたい

* 合算目標のうち、車工会排出量の占める割合は、現目標15%から今回20%相当となる。25年は変更しない

* 電源係数改善は、電気事業低炭素社会協議会発表値を前提としたため、前提崩れの場合は別途見直す

(13年を100とした場合)



	'13	'25	'30
自+車工会	747万t	-	616万t 463万t
車工会	127万t	95万t	80万t 78万t

合算目標には
自工会、車工会の
区分けなし

【図3】提案日程

	11月	12月	2021.1月	2月	3月	4月
車工会				→☆19理事会		
環境委員会			→☆23CN専門委			新目標
		→☆8 目標審議			☆23年度事業計画	
	案作成、審議	★24分科会				

4.達成に向けた取り組み

(1)目標と見通し

30年のCO2排出量は、71万tCO2と見通す中、目標は、78万tCO2（13年比▲38%、合算目標同等）としたい

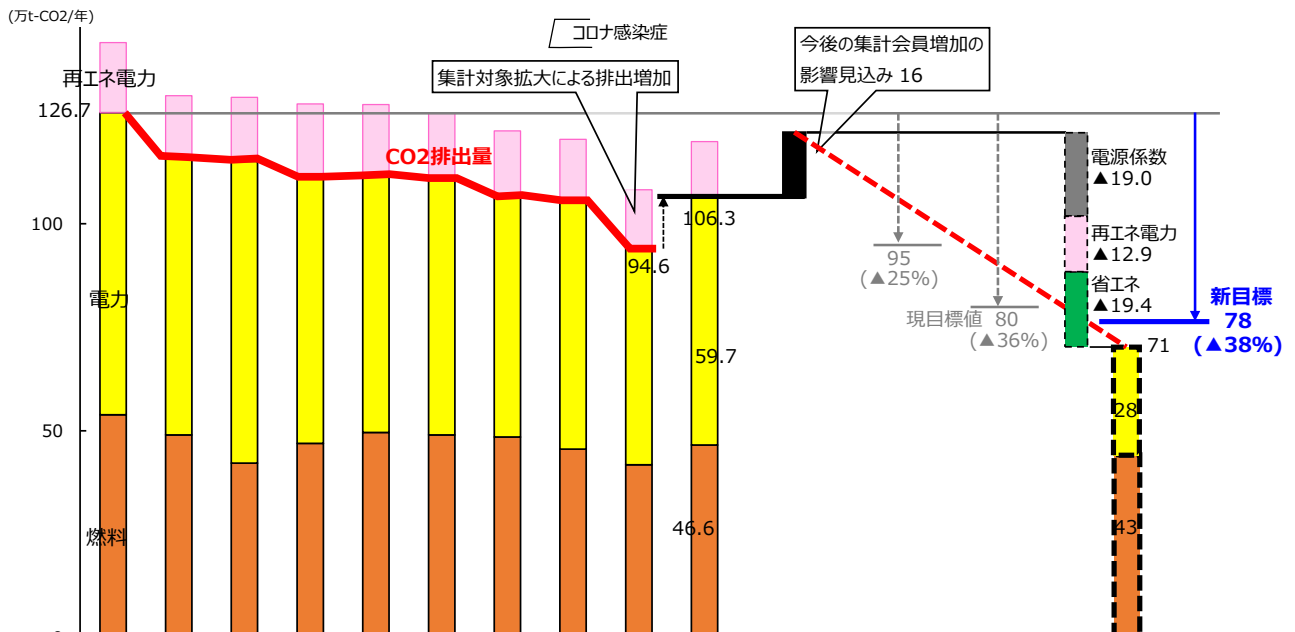
* 合算目標のうち、車工会排出量の占める割合は、現目標15%から今回20%相当になる。25年は変更しない

①21-30年の**省エネ**は、委託生産▲2%/年、非量産▲1%/年と見通し…▲19.4万tCO2

②30年の**電源係数**改善は、0.25kgCO2/kwh（電気事業低炭素社会協議会の改定値）とした…▲19.0万tCO2

③**再エネ電力**の導入量は、政府目標の36%が当会会員へも普及する前提とした…▲12.9万tCO2

【図4】当会の25、30年の目標案と見通し（会員への調査結果より）



年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	25	30
CO2排出量	126.7	116.6	115.1	111.8	111.8	111.3	107.1	105.3	94.6	106.3	71
電力	72.9	67.5	72.9	64.8	62.2	62.3	58.6	59.8	52.9	59.7	28
燃料	53.9	49.0	42.2	47.0	49.6	49.0	48.5	45.6	41.8	46.6	43
再エネ電力	17.0	14.3	15.4	17.1	17.0	15.5	15.3	15.0	13.5	13.5	
電源係数 (tCO2/万kwh)	5.67	5.53	5.34	5.18	4.97	4.61	4.44	4.79	4.36		3.79 → 2.50
生産台数 (万台)	991	959	919	936	968	975	949	960			1049 → 1047
目標対象会員数	39	39	39	39	39	39	39	40	39	182	234
委託生産	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7
非量産	31	31	31	31	31	31	31	32	32	正:148,準:27	正:200,準:27
総会員数 (正+準)	276	276	279	282	291	296	297	301	312		316
正会員	184	184	186	188	193	195	197	200	207		210 '22/12時点
準会員	92	92	93	94	98	101	100	101	105		106 '22/12時点

(2)達成に向けた取り組み

- ①会員各社は省エネ1~2%/年の確実な実行、全電力に対し再エネ36%程度の導入に取り組む
- ②会員へのフォローアップと目標達成状況の開示（部会別、エネルギー種別など進捗状況と評価、解析）
- ③会員支援（会員の困りごとの吸い上げと対応、勉強会開催、診断チームによる現地/Web指導 など）
- ④優秀事例の収集、表彰によるインセンティブ向上と、HPを通じた情報展開、横展強化など
- ⑤CN専門委員会と環境委員会の協業、および各部会との連携強化

CO2排出量実績と見通し

補足

50年CNへの道筋

- ①自工会+車工会の合算目標は、青のラインで、車工会単独を赤のラインで示す（ともに30年目標は、13年度比38%削減）
- ②実際の達成は、青点線の道筋と推定(自動車OEMのCN宣言より)⇒自工会は40年前後にCN達成し、その後は車工会が残る

目標の必要性と妥当性

- ・2050年CNは、気温上昇2℃から1.5℃以下を目線に変更した目標である
- ・CO2の削減は、今後50年まで毎年4.2%の削減に相当
- ・今回の目標は、3.6%/年相当(22~30年)の削減となり、省エネ、再エネ、電源係数改善で対応する

CO2排出量
(万tCO2/年)

